

## 新たな「九州圏広域地方計画」・「社会資本整備重点計画」決まる 九州ブロックの長期ビジョン及びインフラの具体的な整備計画を策定

---

新たな「九州圏広域地方計画」及び「九州ブロックにおける社会資本整備重点計画」が決定した。九州圏広域地方計画は、「第3次国土形成計画（全国計画）」（令和5年7月閣議決定）を基本とし、九州圏の将来像や目標、その実現に向けた広域連携プロジェクトをとりまとめたもの。また、九州ブロックにおける社会資本整備重点計画は、「第6次社会資本整備重点計画（全国計画）」（令和8年1月閣議決定）に基づき、九州圏広域地方計画で示す将来ビジョンの実現に向け、社会資本を重点的・効率的・効果的に整備するための具体的な計画を策定したもの。今後、国や県など関係者が連携・協力し、両計画の推進に向けた取組が進められる。

九州圏広域地方計画は、今後おおむね10年間の地域のグランドデザインをまとめたもの。九州圏の将来像として（1）成長エンジン「アイランド九州」、（2）自立型広域連携「アイランド九州」、（3）強く美しい「アイランド九州」の3つの目標を掲げ、その実現に向け、①アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点、②ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携、③強みや特色をいかした持続可能な産業振興、④中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進、⑤離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ地域生活圏形成、⑥経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出、⑦国内他圏域との連携の7つのプロジェクトを推進する。

九州ブロックにおける社会資本整備重点計画は、広域地方計画と調和を図り、地方ブロックにおける道路、空港、港湾、下水道、河川等の社会資本整備の具体的な計画で、令和12（2030）年度までの5年間。重点目標として①防災・減災が主流となる社会の実現、②持続可能なインフラメンテナンス、③持続可能で暮らしやすい地域社会の実現、④経済の好循環を支える基盤整備、⑤インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション（DX）、⑥インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上を掲げている。この中では、それぞれの目標の重点施策や達成指標、主要取り組み、中長期見通し、ストック効果、インフラ経営の取り組みなどが個別・具体的に示されている。

[①新たな九州圏広域地方計画](#)

[②九州ブロックの社会資本整備重点計画の概要](#)

[③九州ブロックにおける社会資本整備重点計画](#)